

孤独・孤立女性支援事業【神奈川県】

地域の実情と課題

県内の支援団体によると、コロナ禍において相談件数がそれまでの約5倍となっていることや、相談者の約3人に1人が単身女性やシングルマザー等、相談できる人が身近にいない孤立した女性であることに対し、行政窓口（福祉事務所等）での女性からの相談の割合はコロナ発生前後で大きな変化は見られないことから、女性の困窮が相談や支援に結びついておらず、「見えない困窮」が発生・拡大していることが考えられる。

事業の特徴

- ① 相談受付・訪問支援等を実施し、潜在的な支援対象者を見つけ出すとともに、対象者それぞれの課題の切り分けを行ったうえで、適切な行政窓口や民間団体に同行支援を行った。また、必要に応じて生活必需品（生理用品）の提供を行うとともに、支援スタッフや他の当事者とながりが持てる居場所の提供を行った。
- ② 生活困窮や社会から孤立した女性への支援経験のあるスタッフが、女性相談員及び他の民間団体の支援従事者に対し、支援事例の共有や相談者への援助技術の向上を目的とした研修を実施、女性相談従事者のスキルアップを行った。

事業の効果

- ・ 同行支援件数：152件（同行12件、他機関連携140件）
- ・ 女性からの新規相談受付件数：229件
- ・ 研修参加者による有益度の評価：1回目100%、2回目94%
- ・ 研修参加人数：1回目56人、2回目55人、計111人

目的・目標

- ・ 同行支援件数：220件
- ・ 女性からの新規相談受付件数：440件
- ・ 研修参加者による有益度の評価割合：80%
- ・ 研修参加人数：200人

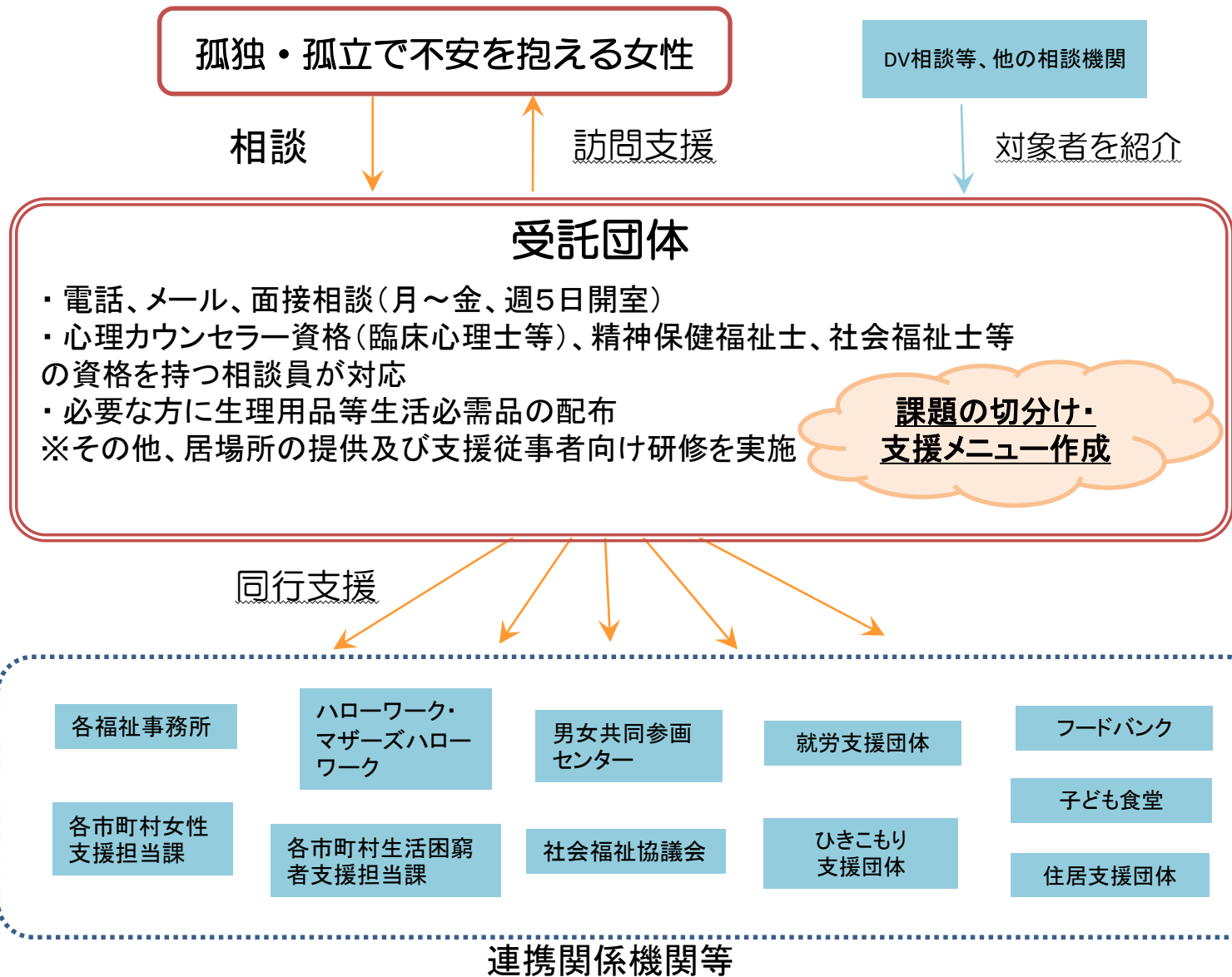
連携団体

- ・（一社）インクルージョンネットかながわ【受託団体】
- ・ かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク 各所属団体
- ・ 市町村の女性支援・生活保護担当課
- ・ ハローワーク、マザーズハローワーク 等

今後の課題

- ・ 相談から同行支援までに時間を要するため、令和4年度も引き続き相談支援を継続し、相談者の課題の切り分けを行い、適切な機関につなぐ。
- ・ 研修開催前のさらなる広報を行い、より多くの参加を呼び掛ける。

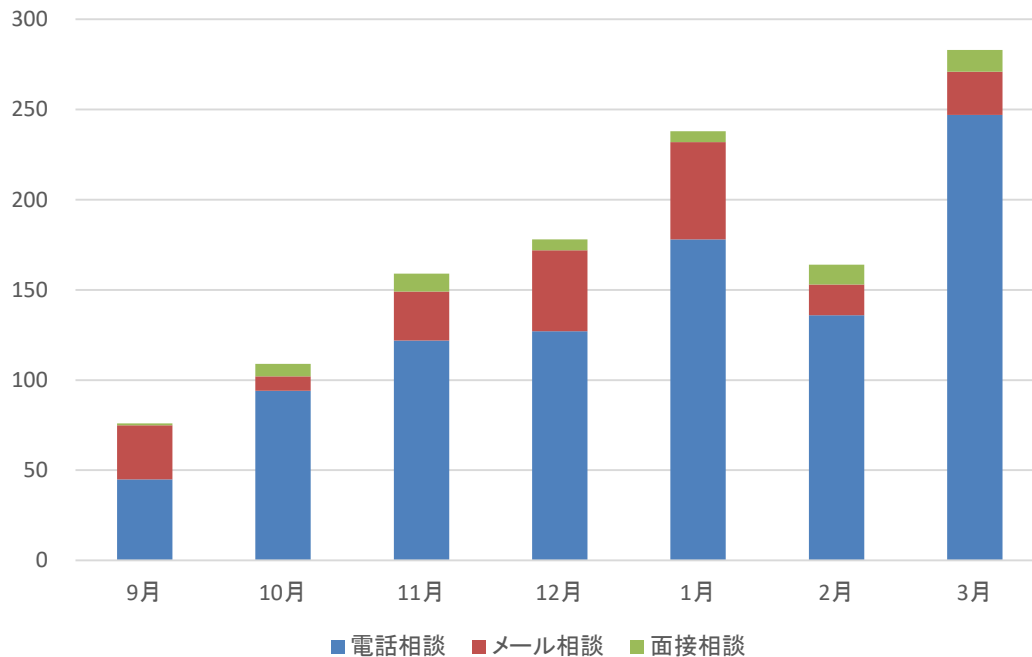
○ 孤独・孤立女性支援事業の概要



○ かながわ女性の不安・困りごと相談室

「かながわ女性の不安・困りごと相談室(かながわ女性相談室)」を設置し、県内の不安や課題を抱える女性から、多くの相談を受け付けた。

不安や課題を抱える女性からの
相談件数の推移



相談室チラシ



相談室・居場所
の様子

○ 支援従事者向け研修

オンライン開催により、女性相談員や他の民間団体の支援従事者に対する研修を実施。支援事例の共有や少人数のグループディスカッションなどを行い、参加者の有益度が高い研修となった。

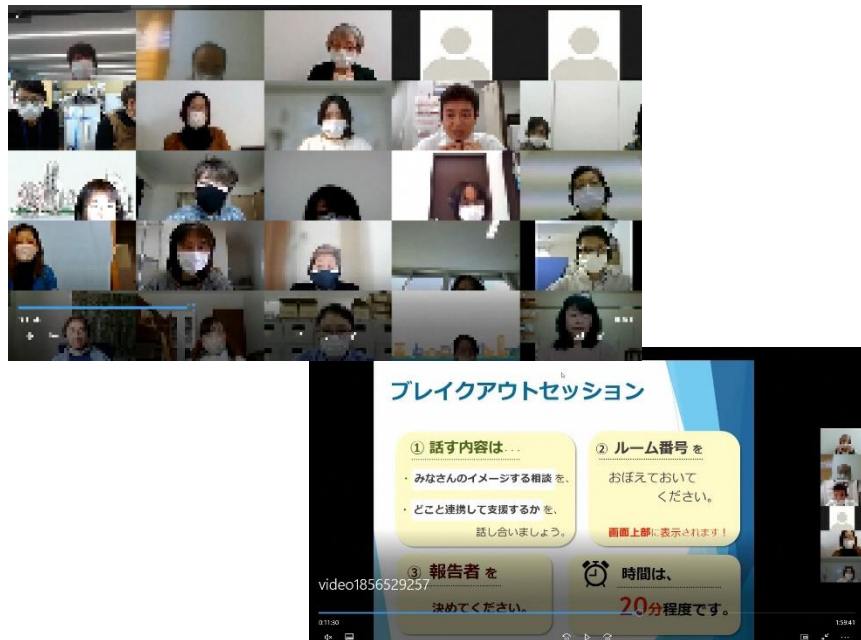
【第1回研修】

- ・実施日：令和4年1月14日（金）
- ・研修テーマ：「コロナ禍で、女性の孤立や困難とどう寄り添うか」

【第2回研修】

- ・実施日：令和4年3月9日（水）
- ・研修テーマ：「コロナ禍の女性支援における各機関の役割と連携」

研修のようす



参加者アンケート結果

	第1回研修	第2回研修
大変良かった	47.8%	68.4%
良かった	52.2%	26.3%
どちらでもない	0%	0%
やや不満	0%	5.3%
不満	0%	0%